

すぎなみで、社会教育の一步を、みつけよう。

vol.

1

いっぽみつけ

令和7年度
Autumn

Suginami Social Education Center . . . NEWS LETTER . . . Ippo Mikke

創刊号

Interview . . .

杉並ユネスコ協会

社会教育センター事業報告▽総合文化祭ほか
社会教育事業関連▽冬季イベントカレンダー



青年部

はじめまして、
社会教育センターです！



いっぽみっけは
すぎなみの社会教育に
まつわる情報をお届け
の予定…です！

はじめての試みなのでどうぞ温かい目で見守ってください

社会教育活動をしている区民にインタビュー



ヒト

『人生100年時代』を自分らしく、
いきいきと生きるために。まちのなか
で活躍する方や団体にスポットを当て
ご紹介していきます。

社会教育センター事業の様子をお届け



コト

年間を通じ、たくさんの「学び」の
きっかけとなる場や機会をつくってい
る社会教育センター。それらの情報を
季節ごとにお伝えします。

アスッと笑えるものから会話のネタまで



モノ

コミュニティの活性化/チームアップ
に役立つグッズから社会教育の現場で
取り入れられているさまざまな手法ま
で、ランダムに情報をお届けします。



すぎなみ

社会教育って？

広い意味では「学校教育・家庭教育 以外の教育
を“社会教育”といい、実はさまざまな学びの場
や学びの機会があります。それらの場や機会へ参
加することだけが学びではなく、周りの人々と関
わり、仲間やつながりをつくること、誰かと学
んだことを共有することも大事な学びです。社会
教育には、人それぞれのカタチがあります。



杉並区立社会教育センター
社会教育主事 齋藤 尚久

ご挨拶

いろいろなところに学びのきっかけは潜んでいます。気の赴くところでどこか
を入口にすれば、そこでの素敵な出会いや発見に、あるいはその先へとつなが
る「何か」が得られるかもしれません。そうした学びのきっかけ探しの応援紙
づくりを、ここにキックオフしました。「いっぽみっけ」がまちや仲間との学
びへとつながる一助となることを願っています。

Interview ---

国際平和のために、異文化理解・英会話・スポーツなどのプログラムを実施！

杉並ユネスコ協会 青年部

はじめのいっぽ ユネスコ青年部に入ろうと思ったきっかけは？



Interviewee

(中) 部長 たむら さえ 田村 紗依さん 大学1年生
 (右) 副部長 こやま ちひろ 古山 千尋さん 大学2年生
 (左) 副部長 すぎはら しょう 杉原 翔さん 高校2年生

(田)：私は、学校で配られたユネスコ教室（キャンプ）のお知らせを見て、面白そうだな、と思って参加しました。たくさんの友達ができ、当時中1だった私は、中2、中3の友達に「青年部において！」と声をかけられて入部しました。(古)：姉が中学生の時にキャンプに参加していたので、私も小6の時に参加し、そのまま中学生クラブに入りました。途中で引っ越しもあったので、杉並区に戻ってきてから高2で青年部に入りました。(杉)：兄が中学生クラブに参加していた時に、すごく楽しかったという経験を聞いて、僕も中学生クラブに入りました。青年部の人たちがすごくカッコよくて入部しました。

エピソード ————— 活動する中で、一番印象的だった出来事は？

(古)：今年のキャンプです。性格がシャイで自分から話しかけられない中学生や、英語に苦手意識があり、外国人とあまり話せない中学生もたくさんいました。私たち青年部がみんなを輪に入れようと頑張るうちに、中学生たちがだんだん心を開いて自分からしゃべりかけ、英語が苦手でも単語・単語で頑張ってしゃべってみる場面が増えてきて、彼らの心の成長を見ることができました。あとは、外国人と日本人の中学生

はあまり接点がないことが多いですが、青年部が企画したキャンプによって、二者が結びついたことがちょっと誇らしく、嬉しい気持ちになりました。(杉)：中学生クラブに来てくれたチリ人の中学生とすごく仲良くなったことです。プライベートで、二人でカラオケなどに行って遊びました。それまでは、日本人の友達しかなくて、海外の友達と交流する経験が初めてだったので、とても新鮮で印象に残っています。

あたらしい自分みつけ ————— 活動前と比べて、変わったなと思うことは？

(田)：高3から部長職を務めているのですが、部長になる前と、なった後で見える青年部は、本当に180度違いました。部長になる前は、人から「これをやってね」と言われたことをするのみでしたが、部長になってからは、自分が一から企画をするようになりました。それまではあまり使うことのなかった“0を1にする力”が備わったなと思います。(古)：主体性とリーダーシップを身につけることができました。企画す

る側として、広い視野を持って行動する事と、自ら動いてみんなをサポートすることが多いと感じています。あとは「外の世界に興味を持ってもいいんだ！」と思えるようになりました。青年部の中には、海外旅行や海外留学など、日本だけじゃない世界に興味をもち、目を向ける人が多くいます。その中にいると、もっと違うことを知りたい・新しいことに出会いたいと思えるようになり、積極性を養うことができました。



▲ 青年部会議の様子

▼杉並ユネスコ協会HP



▼青年部募集のページ



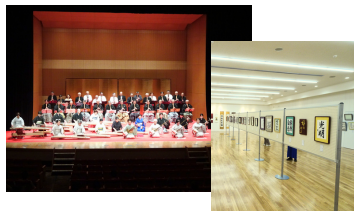
杉並ユネスコ協会・青年部

杉並ユネスコ協会の活動に運営スタッフとしてかわる高校生・大学生などを中心とした部会です。青年部のメンバーには、“中学生クラブ”の卒業生がたくさんいます。
 ※中学生クラブ…杉並区在住・在学の中学生が、英会話と異文化を学ぶ活動です。

社会教育センターの事業報告

総合文化祭 全日程終了しました

9月26日～10月27日の1か月間で行われた今年の総合文化祭。コーラスや民謡舞踊などの舞台発表、華道や絵画などの



作品展示、将棋や短歌などの大会が行われました。多彩な文化にふれることができ、「芸術の秋」を感じた期間でした。

済美教室・遠足 大宮・鉄道博物館へ

特別支援学校等を卒業した方の社会参加・仲間づくりの場としてさまざまな活動を行っている済美教室では、10月25日・

11月8日の2日間で遠足に行きました。実際に走行していた車両の展示や、迫力ある鉄道ジオラマを見学。お弁当やお土産を自分で選び・支払いをすることは、社会参加への一歩にも繋がったように感じます。



太陽観測会・星空観望会

11月8～10日、すぎなみフェスタと区内小学校にて、太陽観測会・星空観望会を実施しました。北海道名寄市からの移動式天文台車「ポラリス2号」来訪が叶わなくなるという予期



せぬ出来事もありましたが、のべ1,951名が参加し、名寄市との交流を感じながら杉並の空を楽しむ貴重な機会となりました。

編集・発行

杉並区立 社会教育センター

〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 セシオン杉並内
☎03-3317-6621

こころで一息。



さつまいも・栗・カボチャ・・・
季節の味でお腹を満たしてみるのは
いかがでしょう？

Event Calendar



寒い冬ですが、いっぽ外に出て、
参加してみませんか？

12月・・・

- 済美教室ボランティア
スキルアップセミナー
@セシオン杉並
6日(土)14:00～16:30
- 地域活動のリアル @セシオン杉並
14日(日)14:00～17:00
- サイエンスエッジ @IMAGINUS
27日(土)・28日(日)
10:00～11:30、14:00～15:30

1月 / 2026・・・

- 天文トークイベント&観望会
@すぎはち公園
初級編 24日(土)16:30～19:00
上級編 25日(日)16:30～19:00
- サイエンスエッジ @IMAGINUS
11日(日)・12日(祝)
10:00～11:30、14:00～15:30

2月・・・

- ポラリス観望会
@四宮小・杉並第六小・永福小
21日(土)～23日(月)18:00～19:30

* すべて事前申し込みが必要です



◀ 詳細：「杉並区立社会教育センター」電子版パンフレットにて